

## 教養課程

「歯科技工士が知っておきたい 診療報酬改定にまつわるエトセトラ」

佐野 隆一

歯科医療における歯科技工士の重要性が示されています。令和6年度の診療報酬改定で歯科は+0.57%の改定となり、歯科修復・欠損補綴物などの製作に係る項目が引き上げられました。合わせて、光学印象（口腔内スキャナ）や歯科技工士連携加算が新設されました。

これは、昨今の物価上昇に対応し、歯科技工士も含めた医療従事者賃上げのための特例的な措置とされています。しかし、私たちがその制度や意味合いを理解していなければ、せっかくの対応も有効に活かせません。また臨床的にも、光学印象や歯科技工士連携加算でチェックするポイントは理解しておきたいところです。

ここでは診療報酬改定というのを一つの軸に、歯科技工業界で生業を立てるなら知っておきたい知識や臨床について、お話しさせていただきたいと思います。

## 専門課程

「補綴再製作をなくして良質な補綴装置を提供する 歯科技工士の技術とコミュニケーション」

佐野 隆一

「日常臨床のトラブルをなくしたい」「良質な補綴装置を提供したい」というのは多くの歯科医師、歯科技工士の方々が思っていることです。では、そのために必要なことは何でしょうか？

また、近年はデジタルデンティストリーも普及してきましたが、ラボサイドが携わると何が違うのか、ラボサイドと連携をとるには何がポイントになるのかをお互いに理解していると、補綴のクオリティは変わります。では、そのために必要なことは何でしょうか？

求められるのは歯科技工士の技術とコミュニケーションです。そこで、私自身の事例や取り組みを通じて、チェアサイドとラボサイドでどう連携をとっていくとよいのかを一緒に考えていきましょう。そして、歯科技工士という“人”が関わる意義を一緒に考えていければ幸いです。